

目 次

平成29年度香川大学大学院医学系研究科（博士課程）学生募集要項

1	募 集 人 員	1
2	出 願 資 格	1
3	出願資格審査について	3
4	出 願 手 続	4
	(1) 出願受付期間	4
	(2) 出願書類等の提出方法	4
	(3) 出願書類等の提出先	4
	(4) 出願に要する書類等	5
	(5) 障害を有する入学志願者との事前相談について	5
5	選 抜 方 法	6
	(1) 学力検査及び面接	6
	(2) 試 験 場	6
6	合 格 者 発 表	7
7	入 学 手 続	7
8	そ の 他	8
	香川大学医学部案内図	9
	香川大学医学部施設・建物配置図	10

大 学 院 案 内

1	目 的	11
2	課 程 編 成	11
3	履修指導及び研究指導体制	11
4	履 修 方 法	11
5	指 導 教 員 一 覧	12
	別表（開設授業科目及び単位数）	15

平成29年度

香川大学大学院医学系研究科（博士課程）学生募集要項

1 募集人員 30人（希少糖研究特別枠3人含む）

募集人員には、社会人特別選抜による募集人員若干人を含みます。

専攻	コース	募集人員
医学	基礎臨床研究医・ 生命科学研究者育成コース	30人
	高度医療人育成コース	

※希望するコース・指導教員を選んで出願してください。

「希少糖研究特別枠」 募集人員 3人

（目的）

医学系研究科博士課程医学専攻では、香川大学のミッションである希少糖研究を推進するため、希少糖特別枠を設け、希少糖研究を志す優秀な学生を確保し、希少糖研究に従事する研究者の育成を行うことで希少糖研究の更なる推進を図ることを目的とします。

（出願）

希少糖研究特別枠に出願する場合には、通常の入試（一般選抜・社会人特別選抜）と併せて出願することができます。

2 出願資格

(1) 一般選抜

- ① 大学の医学，歯学又は修業年限が6年の薬学若しくは獣医学を履修する課程を卒業した者及び平成29年3月までに卒業見込みの者
- ② 外国において、学校教育における18年の課程（最終の課程は、医学，歯学，薬学又は獣医学）を修了した者及び平成29年3月までに修了見込みの者
- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程（最終の課程は、医学，歯学，薬学又は獣医学）を修了した者及び平成29年3月までに修了見込みの者
- ④ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における18年の課程（最終の課程は、医学，歯学，薬学又は獣医学）を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成29年3月までに修了見込みの者
- ⑤ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が五年以上である医学，歯学，薬学又は獣医学の課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び平成29年3月までに学位を授与される見込みの者

- ⑥ 文部科学大臣の指定した者及び平成29年3月までに指定した者に該当する見込みの者【注1】，【注3】
- ⑦ 学校教育法第102条第2項に規定する者【注2】，【注3】
- ⑧ 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学の大学院（医学，歯学，薬学又は獣医学を履修する課程）に入学した者であって，当該者をその後に入学者させる本大学院において，大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの【注3】
- ⑨ 本学大学院において，個別の入学資格審査により，大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，24歳に達したもの及び平成29年3月31日までに24歳に達するもの【注3】

【注1】 文部科学大臣の指定した者（昭和30年文部省告示第39号）

- ア 旧大学令（大正7年勅令第388号）による大学の医学又は歯学を履修し，これらの学部を卒業した者
- イ 防衛省設置法（昭和29年法律第164号）による防衛医科大学校を卒業した者及び平成28年3月までに卒業見込みの者
- ウ 修士課程を修了した者及び修士の学位の授与を受けることのできる者並びに前期2年及び後期3年の課程の区分を設けない博士課程に2年以上在学し，30単位以上を修得し，かつ，必要な研究指導を受けた者〔学位規則の一部を改正する省令（昭和49年文部省令第29号）による改正前の学位規則（昭和28年文部省令第9号）第6条第1号に該当する者を含む。〕で大学院又は専攻科において，大学の医学，歯学，薬学又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めたもの
- エ 大学（医学，歯学，薬学又は獣医学を履修する課程を除く。）を卒業し，又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後，大学，研究所等において2年以上研究に従事した者で，大学院又は専攻科において，当該研究の成果等により，大学の医学，歯学，薬学又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めたもの

【注2】 出願資格⑦に該当する者は，平成29年3月末現在において，大学の医学，歯学又は修業年限が6年の薬学若しくは獣医学を履修する課程に4年以上在学した者（外国において学校教育における16年の課程（最終の課程は，医学，歯学，薬学又は獣医学の学部）を修了した者及び外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程（最終の課程は，医学，歯学，薬学又は獣医学の学部）を修了した者を含みます。）であって，本大学院が，所定の単位を優秀な成績で修得する見込みと認めた者です。

【注3】 出願資格⑥（【注1】のウ又はエ），⑦，⑧，⑨のいずれかに該当する者は，一般選抜，社会人特別選抜を問わず3ページ「3 出願資格審査について」に従って手続を行ってください。

(2) 社会人特別選抜

上記(1)の出願資格のいずれかを有し，出願時に病院，研究所，官公庁等において医師，研究者等として勤務している者

3 出願資格審査について

2 ページ「2 出願資格」の⑥（【注1】のウ又はエ）、⑦、⑧、⑨のいずれかに該当する者は、一般選抜、社会人特別選抜を問わず事前審査が必要です。

綴じ込みの「出願資格調書：様式1」に下記の書類を添えて、下記期限までに、本学へ提出してください。

(1) 審査書類提出期限

前期日程	平成28年 7月 1日(金) 17時までに必着
後期日程	平成28年11月25日(金) 17時までに必着

(2) 出願資格調書に添付する書類

○出願資格⑥（【注1】のウ又はエ）に該当する者

- ・最終学校の卒業（見込み）証明書
- ・成績証明書
- ・博士（医学）の学位を取得する動機となった研究論文（写）、学会発表（写）又は研究成果報告書〔様式適宜：800字以内〕

○出願資格⑦に該当する者

- ・大学4年又は外国の学校教育における16年の課程修了（見込み）証明書
- ・成績証明書

○出願資格⑧に該当する者

- ・大学院の成績証明書

○出願資格⑨に該当する者

- ・最終学校の卒業証明書
- ・成績証明書
- ・入学資格個別審査調書（綴じ込みの「様式2」）

(3) 審査書類提出先

〒761-0793 香川県木田郡三木町池戸1750-1

香川大学医学部総務課学務室 大学院・入学試験係（医学部管理棟1階）

※直接書類を持参する場合の受付は、土曜日、日曜日及び祝日を除く日の9時から17時までとします。

(4) 審査結果について

出願資格審査の結果は、下記の予定で書面により本人に通知します。

前期日程	平成28年 7月21日(木) 付けで通知
後期日程	平成28年12月22日(木) 付けで通知

この事前審査で出願資格が認められなかった場合には、出願することができません。

4 出 願 手 続

(1) 出願受付期間

前期日程	平成28年 7月22日(金) から 平成28年 7月29日(金) まで
後期日程	平成28年12月26日(月) から 平成29年 1月 6日(金) まで

(2) 出願書類等の提出方法

ア 直接持参する場合の受付は、土曜日、日曜日、祝日及び12月29日～1月3日を除く日の9時から17時までとします。

イ 郵送による場合は、所定の出願用封筒を使用し、出願書類等を一括して封入のうえ「速達・簡易書留」とし、前期日程・後期日程それぞれの出願受付期間最終日の17時までに必着するよう発送してください。

(3) 出願書類等の提出先

〒761-0793 香川県木田郡三木町池戸1750-1

香川大学医学部総務課学務室 大学院・入試試験係（医学部管理棟1階）

(4) 出願に要する書類等（※印は本学所定の用紙及び封筒）

1	※入 学 志 願 票	本学所定の用紙に必要事項を記入したものを提出してください。
2	成 績 証 明 書	出身大学（学部）長が作成し、厳封したものを提出してください。 また、大学院修士課程修了（見込）者にあつては、当該研究科の長が作成し、厳封したものを提出してください。ただし、本学医学部卒業（見込み）者は除く。
3	卒業（修了）証 明 書 又は 卒業（修了）見込証明書	出身大学（学部）長が作成したものを提出してください。ただし、本学医学部卒業（見込み）者は除く。
4	検 定 料 30,000円	入学願書と一連の「振込依頼書（入金票）」及び「領収書」に必要事項を記入の上、 【前期日程】平成28年 7月14日（木）～ 平成28年 7月29日（金） 【後期日程】平成28年12月16日（金）～ 平成29年 1月 6日（金） の間に金融機関（郵便局・ゆうちょ銀行を除く。）の窓口で所定の検定料を振り込んでください。その際、必ず入学願書下部の「受付金融機関出納印」欄に押印を受けてください。 (注) 通常、金融機関の窓口取扱時間は、平日の15時までです。また、土日・祝日は休業となりますので、注意してください。 なお、本学修士課程修了後引き続き博士課程に進学する者及び国費外国人留学生は検定料は不要です。
5	※受 験 票 ※写 真 票	出願以前6か月以内に撮影した正面向き上半身無帽の写真（縦4cm×横3cm）を受験票及び写真票の所定欄に貼付してください。 ※印以外の所定の欄は、すべて記入してください。
6	※受験票等送付用封筒	住所、氏名及び郵便番号を記入し、362円分の切手（速達料金）を貼付してください。
7	※あ て 名 票	本学所定の用紙に、合格通知書を受け取る際の住所、氏名及び郵便番号を記入してください。
8	住 民 票 の 写 し (日本国籍を有しない者のみ)	日本国籍を有しない者は、市区町村長が発行する住民票の写しを提出してください。

(注) 入学願書の氏名と成績証明書・卒業（修了）証明書及び卒業（修了）見込証明書の氏名が異なる場合には戸籍抄本を添付してください。

(5) 障害を有する入学志願者との事前相談について

障害を有する等、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性がある入学志願者は、出願に先立ち、あらかじめ本学と相談してください。

相談の時期：

前期日程	平成28年 7月 1日(金)まで
後期日程	平成28年11月25日(金)まで

相談の方法：申請書（本学所定の様式又は本学が必要とする内容が記されたもの、健康診断書等必要書類添付）を提出することとし、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る者との面談等を行います。

連絡先：香川大学医学部総務課学務室 大学院・入学試験係

〒761-0793 香川県木田郡三木町池戸1750-1

TEL 087-891-2074

なお、相談の内容によっては対応に時間を要することもありますので、出願前のできるだけ早い時期に、相談してください。

特に、下表に相当する障害がある者については、申し出がなかった場合、受験の際、障害等の状態に応じた対応ができなくなる場合もありますので十分注意してください。下表から判断できない場合は、お問い合わせください。

区 分	障 害 の 程 度
視 覚 障 害	両眼の視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴 覚 障 害	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のものうち、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢 体 不 自 由	<ul style="list-style-type: none"> ・肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの ・肢体不自由の状態が上記に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病 弱	<ul style="list-style-type: none"> ・慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの ・身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの
そ の 他	上記以外で、受験上、修学上特別の配慮を必要とするもの (例) 発達障害 (ADHD, 高機能自閉症等), パニック障害, 頻尿

5 選 抜 方 法

入学者の選抜は、学力検査（筆記試験・口頭試問）、面接の結果を総合して判定します。

(1) 学力検査及び面接（希望する試験日どちらかを選択）

月 日	時 間	実 施 項 目	備 考
前期日程 8月25日(木) 及び 後期日程 2月9日(木)	10:00~12:00	英 語	筆記試験 ※辞書持ち込み可 (英和辞典のみとし、電子辞書は不可)
	13:00~	講 座 別	口頭試問又は筆記試験
面 接		指導教員別に行います。	

(2) 試験場

香川大学医学部 香川県木田郡三木町池戸1750-1

※試験場へ自動車での入構はできません。

6 合格者発表

前期日程	平成28年9月23日(金) 午前9時(予定)
後期日程	平成29年3月6日(月) 午前9時(予定)

合格者の発表は、医学部構内に掲示するとともに、合格者には合格通知書を送付します。なお、電話等による合否の問い合わせには応じません。

また、本学のホームページ上においても合格者受験番号を掲載します。(同日午前10時予定)。

香川大学 URL：<http://www.kagawa-u.ac.jp/>

【注】：ホームページ掲載は、本学が情報提供の一環として行うものであり、公式の合格者発表は医学部キャンパス掲示板、合格通知書にて行います。

7 入学手続

合格者は、平成29年3月27日(月)17時(必着)までに、郵送により入学手続を完了してください。入学手続書類は、「簡易書留・速達郵便」とし、上記期限までに教育・学生支援室学務グループへ送付してください。

所定の期限までに入学手続を完了しない場合には、入学辞退者として取り扱います。

なお、入学手続に関しての詳細は、前期日程は平成29年2月上旬頃、後期日程は合格通知書と共に通知する予定です。

入学手続に必要なものは、次のとおりです。

- (1) 本学所定の誓約書
- (2) その他本研究科に必要な書類
- (3) 納付金

入 学 料 282,000円(予定)

ただし、本学修士課程修了後引き続き博士課程に進学する者、及び国費外国人留学生は、入学料は不要です。

{	授 業 料 前期分 267,900円(予定)	【注】①
	(年額) 535,800円(予定)	

ただし、国費外国人留学生は不要です。

なお、入学時及び在学中に学生納付金が改定された場合には、改定時から新たな納付金額が適用されます。

【注】① 前期分の授業料については、平成29年4月1日から平成29年5月31日までの間に納付してください。

また、希望により、前期分の納付の際に後期分も合わせて納付することができます。

- ② 払込済の入学料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
 - ・入学手続を行わなかった場合
 - ・入学料を誤って二重に払い込んだ場合
- ③ 入学手続を完了した場合であっても、大学(院)卒業(修了)見込みで出願した者が、平成29年3月31日までに卒業(修了)できなかった場合には、この入学手続が無効になります。
- ④ 入学手続を完了した後、何らかの事情で入学ができなくなった場合は、速やかに申し出て、入学辞退の手続を行ってください。所定の入学辞退の手続を行わない場合は、平成29年4月1日付で入学したことになり、授業料の債務(前期分)が発生しますのでご注意ください。

8 そ の 他

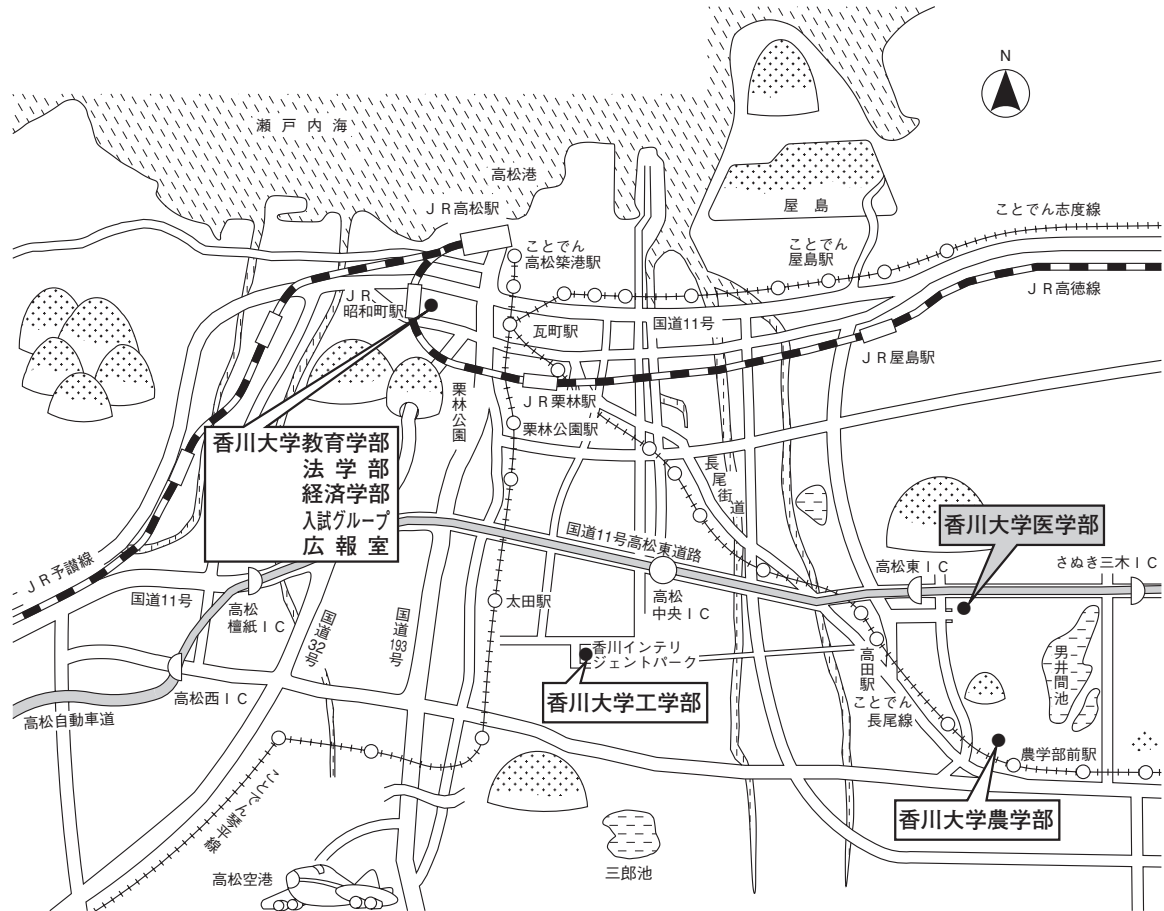
- (1) 出願書類等に不備がある場合には、受理しないことがあります。
 - (2) 出願書類受付後の書類の変更は認めません。また、いったん受理した出願書類は返還できません。
 - (3) 払込済の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
 - ① 検定料を払い込んだが本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合
 - ② 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
- ※上記①又は②に該当される方は、香川大学入試グループ(電話(087)832-1182)へご連絡ください。
- (4) 出願しようとする者は、事前に志望する指導教員に必ず相談してください。
 - (5) 病院・会社等に勤務しながら入学する場合は、入学手続き時に「入学承諾書」（所定の用紙）を提出してください。
 - (6) 入学試験に関する照会は、下記あてに行ってください。

〒761-0793 香川県木田郡三木町池戸1750-1

香川大学医学部総務課学務室 大学院・入学試験係

電話 (087) 891-2074

香川大学医学部案内図



- | | |
|------------|---|
| 電車とバス利用の場合 | ことでん「高松築港」駅（JR「高松」駅から徒歩3分）から長尾線に乗り、「高田」駅で下車。「高田」駅からバスで5分（ことでん「高松築港」駅から「高田」駅までの所要時間 電車約25分・料金350円、「高田」駅から医学部までの所要時間 バス約5分・料金160円、徒歩の場合 約25分） |
| バス利用の場合 | JR「高松」駅前⑦番乗り場から⑩高松医療センター・大学病院線に乗り(所要時間約45分・料金620円) |
| タクシー利用の場合 | JR「高松」駅からの所要時間約30分（約4,000円） |
| 航空機利用の場合 | 高松空港から医学部までの直通的交通機関はありません。
リムジンバスで高松築港まで所要時間約40分（750円）
医学部までタクシー利用の場合は所要時間約40分（約5,000円） |

(注) 料金については、変更される場合がありますので、利用する場合には、あらかじめ各自で確認しておいてください。

香川大学医学部施設・建物配置図



大 学 院 案 内

1 目 的

本学大学院医学系研究科（博士課程）は、医学の領域において、研究者として自立し、独創的な研究活動を行うに必要な高度な研究能力とその基礎となる豊かな学識を備えるとともに、生命倫理に関し高い見識を有する研究者を育成し、もって医学の進歩と社会福祉の向上に寄与することを目的としています。

2 課 程 編 成

本研究科では、高度な研究能力を備えた基礎研究者、基礎研究と臨床の現場を結びつける橋渡し研究者及び臨床研究を計画遂行する臨床研究者を育成する『基礎臨床研究医・生命科学研究者育成コース』と、専門性の高い診断・治療技術に裏打ちされた高度なリサーチマインドをもった医療人及びがん診療のプロフェッショナルの育成を目指す『高度医療人育成コース』を設置する。

両コースには、必修の共通科目として、「医科学概論」、「医科学特論」、「研究・生命倫理」のほか、本学の特色である「希少糖科学特論」を設置する。

また、専門科目については、深い専門性と幅広い知識を身に付けるため、大学院修了後の進路や専門性に基づく4つの科目群を設置する。

『基礎臨床研究医・生命科学研究者育成コース』には、医学の領域において、自立して独創的な研究活動を行うに必要な高度の研究能力とその基礎となる豊かな学識を備える人材を目指す学生のために「ライフサイエンス科目群」を、基礎的な研究シーズを臨床に応用する橋渡し研究者を目指す学生のために「トランスレーショナルリサーチ科目群」を設置する。

『高度医療人育成コース』には、地域特有の疾患に対応し、最新の幅広い医学の知識を学び、高度な専門性とリサーチマインドを有する医療人や専門医取得を目指す学生のために「臨床医・メディカルスタッフ養成科目群」を、地域に求められる高度な技術と知識を持ったがん専門医とチームとしてがん診療を行うことができる専門職医療人を目指す学生のために「がんプロフェッショナル養成科目群」を設置する。

3 履修指導及び研究指導体制

主・副2名以上からなる指導教員が、履修指導及び研究指導を行う。

基礎研究者と臨床研究者の交流促進、基礎医学研究者の増加、他分野からの学生の受け入れ増を図るため、主・副指導教員のうち少なくとも1名は、基礎系講座教員(他研究科教員を含む)とする。

○主指導教員及びコース

入学志願者が、自身の希望する研究内容により、主指導教員及びコースを決定する。

主となる科目群は、入学後に主指導教員と相談のうえ決定する。

○副指導教員

1年次修了の際に、研究テーマの内容により、主指導教員と相談のうえ副指導教員を決定する。

4 履修方法

広い視野に立って、自立して研究活動を推進するのに必要な基礎となる学識と技術を体系的に修得することができるよう、教育課程を「共通科目」、「専門科目」、「課題研究」の3つで構成し、履修年次をそれぞれ1年次、1～3年次、3～4年次とする。

また、専門科目のうち所属するコースに含まれる2つの科目群のどちらかを主科目として選択する。

修了に必要な単位数は、共通科目6単位、専門科目16単位以上、課題研究8単位の計30単位以上とする。共通科目は必修とし、課題研究は各自の研究テーマの研究及び博士論文作成過程を単位化したものとする。専門科目は16単位以上のうち、主科目から8単位(主指導教員の開講する科目を1科目以上含む)、副科目(主科目以外のすべての科目の履修が可能で、コースを越えてよい)から4単位、主科目・副科目に関わらず全ての開講科目から4単位以上を履修する。申請により、他研究科で開講する科目履修を最大4単位認定することができる。

5 指導教員一覽

	講 座 名	指 導 教 員 名	
基礎系講座	形態・機能医学講座	神経機能形態学	教授 三木 崇範
		組織細胞生物学	教授 荒木 伸一
		分子神経生物学	教授 山本 融
		細胞情報生理学	教授 徳田 雅明
		自律機能生理学	教授 平野 勝也
		薬理学	教授 西山 成
	生体分子医学講座	生化学	教授 上田 夏生
		医用化学	教授 和田 健司
		分子細胞機能学	教授 中村 隆範
		医用物理学	准教授 久富 信之
	病理病態・生体防御医学講座	腫瘍病理学	教授 今井田克己
		炎症病理学	教授 上野 正樹
		免疫学	教授 星野 克明
		国際医動物学	准教授 新井 明治
		分子微生物学	教授 桑原 知巳
	人間社会環境医学講座	衛生学	准教授 宮武 伸行
		公衆衛生学	教授 平尾 智広
		法医学	教授 木下 博之
		医学教育学	教授 岡田 宏基
臨床系講座・附属病院	内科学講座	血液・免疫・呼吸器内科学	教授 門脇 則光
		循環器・腎臓・脳卒中内科学	教授 南野 哲男
		消化器・神経内科学	教授 正木 勉
		皮膚科学	教授 窪田 泰夫
		精神神経医学	教授 中村 祐
		小児科学	教授 日下 隆
	母子科学講座	周産期学婦人科学	教授 秦 利之
		小児外科学	准教授 下野 隆一
	外科学講座	呼吸器・乳腺内分泌外科学	教授 横見瀬裕保
		心臓血管外科学	教授 堀井 泰浩
		消化器外科学	教授 鈴木 康之
		整形外科	教授 山本 哲司
		形成外科学	未 定
		泌尿器科学	教授 笥 善行
		脳神経外科	教授 田宮 隆

	講 座 名	指 導 教 員 名
臨床系講座・附属病院	眼科学	教授 辻川 明孝
	耳鼻咽喉科学	教授 星川 広史
	放射線医学	教授 西山 佳宏
	麻酔学	教授 白神豪太郎
	救急災害医学	教授 黒田 泰弘
	歯科口腔外科学	教授 三宅 実
	内分泌代謝・先端医療・臨床検査医学	教授 村尾 孝児
	臨床腫瘍学	教授 辻 晃仁
	総合診療医学	教授 舩形 尚
	放射線腫瘍学	教授 柴田 徹
	医療情報学	教授 横井 英人
	薬剂学	教授 芳地 一
	病理部	准教授 羽場 礼二
連携組織	地域包括医療学（寄附講座）	教授 窪田 良次
	地域連携精神医学（寄附講座）	教授 新野 秀人
総合生命科学 研究センター	遺伝子研究部門	教授 竹崎 直子
		准教授 岩間 久和
	分子構造解析研究部門	教授 神鳥 成弘
		准教授 吉田 裕美
	動物実験部門	准教授 宮下 信泉
	実験実習機器部門	准教授 西 望
糖鎖機能解析研究部門	准教授 中北 慎一	

中国・四国高度がんプロ養成基盤プログラム ーチーム医療を担うがん専門医療人の育成ー

プログラム目的

中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアムとして、下記10大学が行うプログラムです。

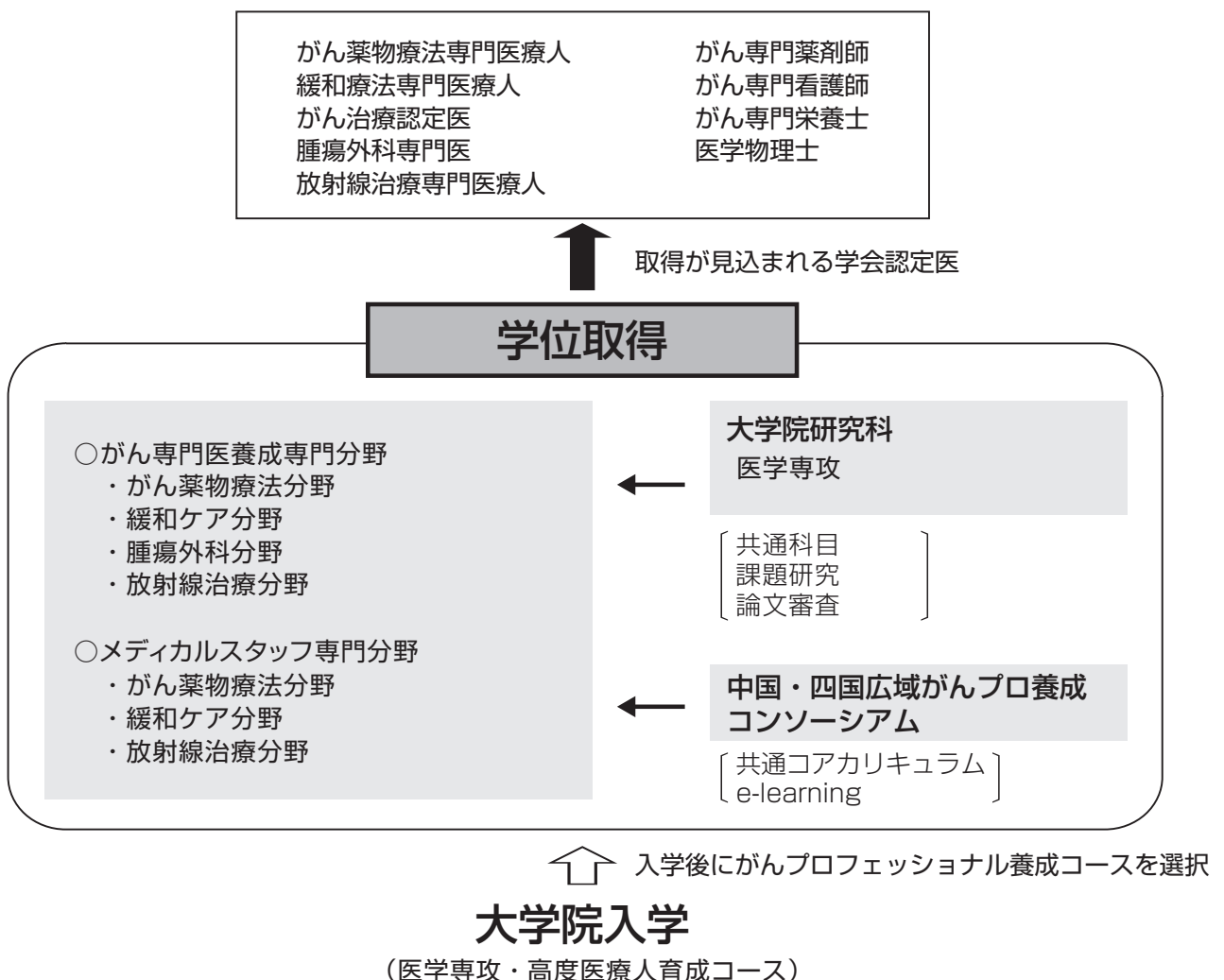
がん対策基本法の目的である中国・四国地方におけるがん治療の均てん化に資するため、中国・四国地方の10大学大学院とがん診療連携拠点病院が協力し、がん専門職医療人を養成します。

コンソーシアム参加10大学

岡山大学、愛媛大学、香川大学、川崎医科大学、高知大学、高知県立大学、徳島大学、徳島文理大学、広島大学、山口大学

プログラム概要

高度なレベルで標準化された共通コアカリキュラムおよびeラーニングによる域内統一カリキュラムによる教育（共育）と、大学間連携による優れた指導者による大学、分野、職種をこえた専門職連携教育（協育）、英語教育と海外先進施設との連携により国際的に活躍する人材の養成と、地域医療機関・患者会との連携による在宅高齢者がん医療に貢献する専門医療人の養成を特徴としています。



入学後がんプロフェッショナル養成コースを選択

大学院入学

(医学専攻・高度医療人育成コース)

別表（開設授業科目及び単位数）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	
共通科目	医科学概論	1前	2			○	○		
	医科学特論	1前	2			○	○	○	
	希少糖科学特論	1後	1			○	○		
	研究・生命倫理	1前	1			○	○		
	小計(4科目)	—	6	0	0		—		
専門科目	基礎臨床研究医・生命科学研究者育成コース ライフサイエンス科目群	希少糖の機能	1・2通		4		○	○	
		発達神経科学	1・2通		4		○	○	
		分子形態学特論	1・2通		2		○	○	
		組織細胞科学特論	1・2通		4		○	○	
		神経細胞生物学特論	1・2通		4		○	○	
		神経生理学	1・2通		4		○	○	
		呼吸循環生理学	1・2通		4		○	○	
		循環生理シグナル伝達学	1・2通		4		○	○	
		薬理学特論	1・2通		4		○	○	
		脂質生物学	1・2通		4		○	○	
		酵素学実験法	1・2通		4		○	○	
		医用有機化学特論	1通		4		○	○	
		医用分析化学特論	2通		4		○	○	
		分子内分泌学	1・2通		4		○	○	
		核医学画像解析	1・2通		2		○	○	
		毒性病理学	1・2通		2		○	○	
		分子神経病理学	1・2通		4		○	○	
		免疫組織化学	1・2通		4		○	○	
		免疫制御学	1・2通		4		○	○	
		寄生虫学特論	1・2通		2		○	○	
		衛生動物学特論	1・2通		2		○	○	
		微生物ゲノム科学	1・2通		2		○	○	
		生活習慣病予防論	1・2通		2		○	○	
		臨床疫学	1前		1		○	○	
		生物統計学	1前		1		○	○	
		医療管理学	1後		1		○	○	
		健康危機管理論	2前		1		○	○	
		国際保健論	2後		1		○	○	
		法医学特論	1・2通		2		○	○	
		医学教育学特論	1・2通		2		○	○	
		遺伝情報解析学	1・2通		4		○	○	
		疾患ゲノム情報学	1・2通		4		○	○	
		生体分子立体構造学	1・2通		2		○	○	
		実験動物学・動物遺伝学	1・2通		2		○	○	
		糖鎖構造解析	1・2通		2		○	○	
小計(35科目)	—		0	101	0		—		

専 門 科 目	基礎臨床研究医・生命科学研究者育成コース	ライフサイエンス科目群	希少糖と生活習慣病	1・2通		2		○	○	
			バイオイメーシング技術の開発・応用	1通		2		○	○	
			中耳・内耳バイオイメーシング	2通		2		○	○	
			形成外科におけるバイオイメーシング	2通		2		○	○	
			細胞シグナル伝達学に基づくトランスレーショナルリサーチ	1・2通		4		○	○	
			生活習慣病診断・治療の前臨床開発	1・2通		4		○	○	
			iPS細胞の応用	1・2通		2		○	○	
			糖鎖情報と臨床応用	1・2通		4		○	○	
			発がん機構	1・2通		2		○	○	
			免疫機能を調整する薬剤の開発	1・2通		4		○	○	
			微生物共生システムと応用	1・2通		2		○	○	
			健康測定・アセスメント	1・2通		2		○	○	
			医療経済・テクノロジーアセスメント	1前		1		○	○	
			医療政策論	1後		1		○	○	
			死因究明技術の開発	1・2通		2		○	○	
			タンパク質分子設計	1・2通		2		○	○	
			精神神経疾患の創薬科学	1・2通		4		○	○	
			臨床アウトカムとしてのQOL評価の応用	1前		1		○	○	
			臨床アウトカムとしての画像解析システム	1後		1		○	○	
			睡眠(終夜脳波システム)の臨床開発	1・2通		4		○	○	
			認知症診断の技術研究	1・2通		4		○	○	
			脂質異常症と心血管病	1・2通		4		○	○	
			食塩感受性高血圧モデルの臨床応用	1・2通		2		○	○	
			周産期の脳発達と子供の健康	1通		4		○	○	
			高速液体クロマトグラフィーの臨床応用	2通		2		○	○	
			近赤外線分光法を用いた臨床研究	2通		2		○	○	
			骨軟部腫瘍研究の臨床応用	1・2通		4		○	○	
			前立腺がんの新規マーカーの開発	1通		2		○	○	
			低侵襲手術術式の開発	2通		2		○	○	
			癌とマイクロRNA	1通		2		○	○	
			癌と遺伝子異常	2通		2		○	○	
			分子イメージングの臨床応用	1・2通		4		○	○	
			動脈硬化症への遺伝子治療	1・2通		4		○	○	
			病理診断学の臨床応用	1・2通		4		○	○	
			神経保護薬の臨床開発	1・2通		4		○	○	
			医工融合による医療機器開発	1・2通		1		○	○	
			救急・生体侵襲制御	1・2通		2		○	○	
小計(37科目)	—	0	97	0		—				
高度医療人育成コース	臨床医・メデイカルスタッフ養成科目群	希少糖医学	1前		1		○	○		
		地域医療学	1後		1		○	○		
		高齢者医療学	1前		1		○	○		
		医療倫理	1前		1		○	○		
		生活習慣病学	1後		1		○	○		
		災害医療・災害医学	1後		1		○	○		
		神経病学	1・2通		2		○	○		
		脳神経外科学	1・2通		2		○	○		
		運動器病学	1・2通		2		○	○		
		精神病学	1・2通		4		○	○		

専 門 科 目	高度 医療 人 育 成 コ ー ス	臨床 医 ・ メ デ ィ カ ル ス タ ツ フ 養 成 科 目 群	腎・泌尿器病学	1・2通		4		○	○	
			感染症学	1・2通		2		○	○	
			血液病学(血液・造血器・リンパ)	1・2通		2		○	○	
			免疫・アレルギー疾患学	1・2通		2		○	○	
			呼吸器病学	1・2通		4		○	○	
			乳腺内分泌外科学	1・2通		2		○	○	
			消化器病学	1・2通		2		○	○	
			循環器病学	1・2通		2		○	○	
			母子周産期医学	1・2通		2		○	○	
			皮膚病学	1・2通		2		○	○	
			眼病学	1・2通		2		○	○	
			口腔病学	1・2通		2		○	○	
			頭頸部病学	1通		2		○	○	
			耳鼻咽喉疾患学	2通		2		○	○	
			放射線医学	1・2通		2		○	○	
			痛み学	1通		2		○	○	
			呼吸循環制御学	2通		2		○	○	
			小児科学	1・2通		2		○	○	
			内分泌代謝学	1通		2		○	○	
			糖尿病学	2通		2		○	○	
			救急救命医学	1・2通		2		○	○	
			形態機能学	1・2通		2		○	○	
			薬学	1・2通		2		○	○	
小計(33科目)	—	0	66	0		—				
がん プ ロ フ ェ ッ シ ョ ナ ル 養 成 科 目 群	共 通 コ ア リ キ ュ ラ ム	研究 方 法 論 応 用	がん疫学論	1前		1		○		
			臨床研究論							
			医療統計学							
		悪 性 腫 瘍 の 管 理 と 治 療	検査, 診断法概論	1後	1	○				
			治療法概							
			治療合併症, 支持療法, 緩和治療論							
			老年腫瘍学							
		がんの心理社会的側面								
		医療倫理学・医療経済学	1・2通		0.5	○				
		医療対話学	1・2通		0.5	○				
		がんチーム医療実習	1・2通		0.5			○		
		医療情報学(腫瘍学における情報システム)	1・2通		0.5	○				
		が ん 専 門 共 通 科 目	がんのベーシックサイエンス, 臨床薬理学	2通		1	○			
臨床検査, 病理, 放射線診断学	2通			0.5	○					
臓器別がん治療各論	2通			2	○					
放射線治療法	2通			1	○					
がん緩和治療	2通			0.5	○					
専 門 が ん	臨床腫瘍学	2・3通		2	○	○				
	放射線腫瘍学	2・3通		2	○	○				
小計(13科目)	—	0	13	0		—				
課題研究			3・4通	8	0	0	○	○		
合計(123科目)			—	14	277	0	—			

学位又は称号	博士(医学)	学位又は学科の分野	医学関係
修了要件及び履修方法		授業期間等	
<p>修了要件</p> <p>・共通科目6単位，専門科目16単位以上，課題研究8単位の計30単位以上とする。専門科目は16単位以上のうち，主科目から8単位（主指導教員の開講する科目を1科目以上含む），副科目（主科目以外のすべての科目の履修が可能で，コースを越えてよい）から4単位，主科目・副科目に関わらず全ての開講科目から4単位以上を履修</p> <p>履修方法</p> <p>・本研究科に4年以上在籍し，所定の30単位以上を修得し，かつ，必要な研究指導を受けた上，学位論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし，在学期間については，優れた研究業績を上げた者は，当該課程に3年以上在学すれば足りるものとする。</p>		1学年の学期区分	2学期
		1学年の授業区分	15週
		1時限の授業時間	90分

入 学 承 諾 書

平成 年 月 日

香川大学大学院医学系研究科長 殿

所属(長)職名

氏 名

⑩

下記の者が、香川大学大学院医学系研究科（博士課程）に入学した場合は、大学院設置基準第14条（※）特例の適用により、在職したまま在学することを認めます。

記

(入学予定者)

所属・職名

氏 名

(※) 大学院設置基準第14条

「大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる」

出願資格調書

フリガナ				性別	男・女	
氏名						
生年月日	昭和・平成	年	月	日生	年齢	歳
志望するコース 及び指導教員	コース	<input type="checkbox"/> 基礎臨床研究医・ 生命科学研究者育成コース <input type="checkbox"/> 高度医療人育成コース		/		
	指導教員					
出願資格 1 第⑥(【注1】のウ 又はエ)によるもの 2 第⑦号によるもの 3 第⑧号によるもの 4 第⑨号によるもの 該当する項の番号に○ をしてください	昭和	年	月	日	年在学中	
	平成	年	月	日	卒業(修了)	
履歴事項 (学歴：日本の高等学校 卒業生については高等学 校卒業からの学歴を、そ れ以外の者はすべての学 歴を記入してください。) (職歴：特に医学研究を 志す動機となったものを 記入してください。)	区分	年	月	日	事項	
	学歴	～	年	月	日	
		～	年	月	日	
		～	年	月	日	
		～	年	月	日	
		～	年	月	日	
		～	年	月	日	
	職歴	～	年	月	日	
		～	年	月	日	
		～	年	月	日	
		～	年	月	日	
		～	年	月	日	
～		年	月	日		
フリガナ	〒					
現住所	電話番号	() -				

入学資格個別審査調書

1 氏 名

2 生年月日

3 免許・資格

4 博士（医学）の学位取得を希望する動機となった研究歴等を記入してください。

研究業績について、専門雑誌に発表した業績があればその別刷又はコピーを添付してください。
業績が多数ある場合は業績目録を作成してください。その場合申請者の名前に下線を引いてください。

注 1) 適宜の様式（A 4 サイズ）で別途作成してもかまいません。

2) 業績目録の作成方法

著書〔題名、著者名（全員を記入）、編者名、書名、版、発行場所、発行所、発行年、頁の順に記入してください。〕

論文〔題名、著者名（全員を記入）、誌名、巻、発行年、頁の順に記入してください。〕

